

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章_人を育てはじける笑顔 輝くまち
節名	第5節_学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策名	1-家庭教育支援体制の充実

	目指す姿	家庭教育に関する学習の機会を広く設けるなどして、家庭教育の高まりがみられます。また、様々な活動を通して地域の教育力の向上がみられます。
施策の内容	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育の講座については、各校のPTAに委託していますが、運営の担い手や参加者の確保が難しい現状もあることから、講座の開催形態については検討します。 ● 生涯学習の活動団体によっては会員の減少、後継者不足が課題となっており、継続的な活動に支障をきたしていることから、魅力ある事業の企画立案・具現化に努め、会員の確保・後継者育成に取り組めます。 ● 防災キャンプに関わるボランティアのあり方について検討します。 ● 今後の学校・家庭・地域の連携を深める新たな取組について検討します。 ● 学校運営の改善をより一層推進するために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置を促進する条件整備を行っていく必要があります。 ● 学校における働き方改革をより一層推進するために、保護者や地域の方との連携を図っていく必要があります。

まちづくり目標値	指標名	目標(令和6年度)
(1)	家庭教育学級の実施回数	10回
(2)		
(3)		
(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
(1)	2回	12回	11回		
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	578	465	0	0	0	465

今年度の施策達成度	A	<p>A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)</p> <p>B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)</p> <p>C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)</p>
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・町立中学校1校と町PTA連合会の2団体が、新型コロナウイルス感染症対策を講じて家庭教育学級を開催した。町PTA連合会は町内小中学校PTAを対象にオンラインを活用し、町立中学校で開催したものを含め、合計11回開催した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、就学時健診時に併せ実施している「親の学習子育て講座」は開催せず、代替として対象保護者へ子育てに関する資料を配付した。

施策を取り巻く環境の変化について		<ul style="list-style-type: none"> ・南部及び中部地区は少子化は落ち着いているが高齢化が進んでいる。北部地区は子育て世代の転入が落ち着き、年々児童・生徒数が大幅に減少している。 ・多くの家庭が共働きであり、平日の日中に開催する事業は多くの参加者を見込めず、参加者も限られている。
施策実現のための課題	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・各校PTAにおいて組織の改善(スリム化)を積極的に行うことで運営の効率化が図られている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、家庭教育学級に積極的にオンライン開催やYouTube配信を活用したことで、受講者にとっては自由に参加しやすい環境であった。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止により、大人数による参集の場を設定しにくい環境にある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナ、ウィズコロナを念頭に、多くの人が参加しやすい事業展開を目指し、オンライン開催やYouTube配信を推奨し、土日や夜間の開催に向けて検討する。
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長引くコロナ禍において、各小中学校PTAが家庭教育学級を町PTA連合会に委託し、各小中学校PTAを対象にオンライン開催し、事業の効率化が進んだ。
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章_人を育てはじける笑顔 輝くまち
節名	第5節_学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策名	2-地域の教育力の向上

目指す姿	家庭教育に関する学習の機会を広く設けるなどして、家庭教育の高まりがみられます。また、様々な活動を通して地域の教育力の向上がみられます。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育の講座については、各校のPTAに委託していますが、運営の担い手や参加者の確保が難しい現状もあることから、講座の開催形態については検討します。 ● 生涯学習の活動団体によっては会員の減少、後継者不足が課題となっており、継続的な活動に支障をきたしていることから、魅力ある事業の企画立案・具現化に努め、会員の確保・後継者育成に取り組めます。 ● 防災キャンプに関わるボランティアのあり方について検討します。 ● 今後の学校・家庭・地域の連携を深める新たな取組について検討します。 ● 学校運営の改善をより一層推進するために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置を促進する条件整備を行っていく必要があります。 ● 学校における働き方改革をより一層推進するために、保護者や地域の方との連携を図っていく必要があります。
施策の内容	今後に向けた課題・方向性

まちづくり目標値	指標名	目標(令和6年度)
(1)	成人式(伊奈町二十歳の集い)の出席率	75.5%
(2)		
(3)		
(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
(1)	66.8%	77.0%	68.3%		
(2)					
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,705	1,596	0	0	0	1,596

今年度の施策達成度	A	<p>A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)</p> <p>B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)</p> <p>C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)</p>
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・民法の一部改正に伴い、「成人式」を「伊奈町二十歳の集い」に名称変更し、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、来賓・恩師を招いて1会場・3回で開催した。二十歳を祝福するとともに、二十歳になる者が、社会の一員として権利・義務の責任ある行使と、独立した個人としての誇りをあらためて認識する良い機会となった。該当者530名に対し、362名の出席者であった。 ・社会教育関係4団体(町子ども育成会連絡協議会、ボーイスカウト伊奈第1団、町青少年相談員協議会、町青少年健全育成推進協議会)においては新型コロナウイルス感染症対策を講じて、積極的に屋内外活動を工夫して実施した。 ・町地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会では、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、部会ごとに活動の見直しを行った。環境浄化部会は、朝のあいさつ運動を再開した。

施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・民法の一部改正により、成年年齢が18歳に引き下げられ、「成人式」を「伊奈町二十歳の集い」に名称変更した。 ・コロナ禍ではあるが、対面による青少年健全育成活動を徐々に再開している。
施策実現のための課題	<ul style="list-style-type: none"> ・住民ニーズの変化について ・新型コロナウイルス感染症による住民の不安が弱まりつつあり、事業活動も上向きになっている。 ・展開した事業は適切であったか ・二十歳の集い実行委員会の開催時期を早め、実行委員の意向を確認したうえで、感染症対策を講じて1会場3回で計画どおり実施した。 ・施策を達成するうえでの障害について ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が、事業によっては実施の可否や縮小を左右する場合がある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳の集いにおいて実行委員が主体的に活動できるよう支援し、記念事業の見直しを図っていく。 ・町地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会が青少年に関わる内容のアンケートを、児童・生徒に実施した調査結果を町民に広報し、子供たちへの理解を深めるための一助とする。
---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳の集いの記念事業を工夫し、極力予算の削減に努めた。 ・社会教育関係4団体の活動実績や会員数の減少などを勘案し、更なる補助金額の減額を行った。
----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章_人を育てはじける笑顔_輝くまち
節名	第5節_学校・家庭・地域の連携と教育力の向上
施策名	3-学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

施策の内容	目指す姿	家庭教育に関する学習の機会を広く設けるなどして、家庭教育の高まりがみられます。また、様々な活動を通して地域の教育力の向上がみられます。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭教育の講座については、各校のPTAに委託していますが、運営の担い手や参加者の確保が難しい現状もあることから、講座の開催形態については検討します。 ● 生涯学習の活動団体によっては会員の減少、後継者不足が課題となっており、継続的な活動に支障をきたしていることから、魅力ある事業の企画立案・具現化に努め、会員の確保・後継者育成に取り組めます。 ● 防災キャンプに関わるボランティアのあり方について検討します。 ● 今後の学校・家庭・地域の連携を深める新たな取組について検討します。 ● 学校運営の改善をより一層推進するために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)設置を促進する条件整備を行っていく必要があります。 ● 学校における働き方改革をより一層推進するために、保護者や地域の方との連携を図っていく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	WaKu楽体験教室	300人
(2)			
(3)			
(4)			

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	74人	60人	205人		
(2)						
(3)						
(4)						

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	578	465	0	0	0	465

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子供教室及び子供防災教室は事業を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も中止した。 ・感染症対策を講じて、WaKu楽体験教室を定員の半分以上で募集し、16教室30回の開催で、延べ205名の参加であった。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・コロナ禍のため、3年ぶりに調理する事業・教室等を再開したが、飲食を行わない形(調理のみ)とした。
	住民ニーズの変化について	・小学生対象のWaKu楽体験教室に低学年の子供が参加した時、保護者(親)の参観希望が増加し続けている。
	展開した事業は適切であったか	・感染症対策を講じ、WaKu楽体験教室は昨年度より多くの教室を計画し、適切に実施できた。
	施策を達成するうえでの障害について	・コロナ禍ではあるが、集客を要する事業・教室等を実施するためには、開催場所となる学校や講師となる地域の方々の理解と協力が不可欠である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナ、ウィズコロナを見据え、事業内容によっては関係者の理解と協力を得て、オンライン開催やYouTube配信などを積極的に活用していく。 ・事業の後にいただいているアンケート結果を精査し、新規事業に採用していく。SNSを上手く利用して情報発信を行い、参加者の増加につなげる。
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	・SNSを活用し、情報発信を積極的に行うことにより、事業を効果的に進めている。
----------------------	-----------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育てはじける笑顔 輝くまち
節名	第6節 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
施策名	1-学び合いの生涯学習の推進

目指す姿 施策の内容 今後に向けた課題・方向性	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果はまちづくりや地域活動などに生かされています。町民の文化意識が向上する中、文化財への理解が深まっています。郷土愛が生まれ、自ら学び地域社会に貢献する人材が育っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校開放講座については、人気がある講座は継続的に行っていますが、参加者数が減少傾向にあることから町民のニーズに対応した満足度の高い多様な講座の開催を検討します。 ● 本格的な高齢社会に向けて、生涯学習は高齢者の社会参加・生きがい対策として重要な取組となることから、引き続き指導者の育成や新規サークルの立ち上げに取組みます。 ● 文化・芸術に関するイベントについては、引き続き実施していくとともに、参加者や町民のニーズと観光との連携を含めた新規取組について検討します。 ● 高齢化の影響もあることから、指導者の確保の充実に努めます。 ● 町民の文化財に対する理解をより深めるとともに、町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、地域の文化財をしっかりと調査し、体験型イベント等の実施や広域圏での企画など、文化財を活用した取組を検討します。 ● 伊奈氏屋敷跡を保存・継承した上で観光とタイアップしたさらなる活用を図ります。 ● 将来の町史編さんのために、必要な行政文書は廃棄せず、歴史公文書として保存・活用に努めます。

まちづくり目標値	指標名	目標(令和6年度)
(1)	学校開放講座の参加者満足度数(理解度数)	65.0%
(2)	人口1人当たりの貸出冊数	5.50冊
(3)		
(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
(1)	85.1(75.3)%	89.6(60.3)%	80.6(60.0)%		
(2)	2.83冊	3.35冊	3.88冊		
(3)					
(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	136,911	135,993	0	0	0	135,993

今年度の施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%) B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%) C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・市内の教育機関と連携した学校開放講座は、10講座を開催し、延べ参加者数は378人であった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、中止となった回もあったが、申込も多数あり、魅力ある講座を開催することができた。 ・パソコン寺子屋については、パソコンを楽しく学ぶ場であり、疑問を安心して質問できる場であるだけでなく、住民同士の交流の場となっている。(41回開催、延べ参加者数349人) ・公民館では各世代に応じた講座を開催した。英語やジャズなど、新しい講座も好評であった。 ・ふれあい活動センター及び図書館については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて、安心して運営管理することができ、利用者にも好評であった。 ・電子図書館においてはコンテンツを増やすことで、利用者を増やすことができた。

施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮しつつ事業を行う必要がある。 ・スマートフォンやタブレットの普及によりパソコンを使用せずに手軽にインターネット環境へアクセスすることができるようになったことで講座などへの応募方法もインターネットを利用したものが増えている。
住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化によりサークル等団体の運営が難しくなっている。高齢者の社会参加・生きがいづくりとして、学習の場や学習成果を発表する場を充実させる必要がある。
展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の懸念があったが、対策を行い安全に事業を行うことができた。 ・公民館講座や学校開放講座のアンケートでは高い満足度となっている。
施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルなどの団体に若年層も参加してもらえる仕組みづくりをする必要がある。 ・新型コロナウイルスの感染状況に応じて対策しながら事業展開をする必要がある。 ・非接触型の電子図書館利用率を上げるため、広く周知をする必要がある。 ・多様化・高度化するニーズを適切に把握し、事業の検討につなげる必要がある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい活動センター及び図書館は、施設の経年劣化に対する適切な補修やメンテナンスを事業計画どおりに進めていく。 ・各種講座のアンケート結果や他市町村の事業事例を精査・研究し、事業内容や安全対策に活用していく。 ・生涯学習課が中心となって私立学校、公立学校と協力し、講座や教室の運営や応募方法など、参加者・応募者の利便性の向上について検討していく。
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい活動センター及び図書館においては、民間のノウハウを活用しつつ利用者へのサービス向上と経費の節減等を目的に、指定管理者制度を引き続き運用していく。 ・各種講座や教室などは、広報紙やホームページ、LINEやfacebook、いなナビTwitterなどのSNSを活用して、積極的に情報発信を行う。
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育てはじける笑顔 輝くまち
節名	第6節 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
施策名	2-文化芸術の振興と伝統文化の継承

今年度の 施策達成度	A	A 施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B 施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C 施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度 の理由 (施策に対する 今年度の実績 及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じ、学習成果を発表する場として、総合文化祭を11月5日・6日の2日間にわたり規模を縮小して開催、約1,500名の来場者があった。 ・町文化協会に加盟している各団体は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で展覧会や発表会を積極的に開催し、大きな成果を出している。 ・第48回伊奈町美術展覧会を10月25日から10月30日の6日間にわたり開催し、84名・113点の出品があり、町の文化芸術の向上に寄与した。356人の来場者があった。

施策の内容	目指す姿	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果はまちづくりや地域活動などに生かされています。町民の文化意識が向上する中、文化財への理解が深まっています。郷土愛が生まれ、自ら学び地域社会に貢献する人材が育っています。
	今後に向けた 課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校開放講座については、人気がある講座は継続的に行っていますが、参加者数が減少傾向にあることから町民のニーズに対応した満足度の高い多様な講座の開催を検討します。 ● 本格的な高齢社会に向けて、生涯学習は高齢者の社会参加・生きがい対策として重要な取組となることから、引き続き指導者の育成や新規サークルの立ち上げに取組みます。 ● 文化・芸術に関するイベントについては、引き続き実施していくとともに、参加者や町民のニーズと観光との連携を含めた新規取組について検討します。 ● 高齢化の影響もあることから、指導者の確保の充実に努めます。 ● 町民の文化財に対する理解をより深めるとともに、町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、地域の文化財をしっかりと調査し、体験型イベント等の実施や広域圏での企画など、文化財を活用した取組を検討します。 ● 伊奈氏屋敷跡を保存・継承した上で観光とタイアップしたさらなる活用を図ります。 ● 将来の町史編さんのために、必要な行政文書は廃棄せず、歴史公文書として保存・活用に努めます。

施策実現の ための 課題	施策を取り巻く 環境の変化につ いて	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、学びの保障を維持することが難しくなっている。 ・生涯学習に対する住民ニーズは年々多様化・高度化している。 ・伝統芸能を継承する若者が減少しており、団体の存続が危ぶまれている。
	住民ニーズの変 化について	<ul style="list-style-type: none"> ・健康増進・趣味・教養に関する講座や教室に対し、カルチャースクールのような質の高いものを求める傾向にある。 ・流行や関心事は流動的であるので、住民ニーズの把握に努め事業を企画する必要がある。
	展開した事業は 適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるが、3年ぶりに総合文化祭と美術展覧会を開催し、再開を待ち望んでいた参加者及び来場者にとっても喜ばれた。
	施策を達成する うえでの障害に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・各団体構成員の高齢化と会員の減少が進んでおり、若者参加と後継者育成が課題である。

まち づくり 目標 値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	伊奈町美術展覧会観覧者数	500人
	(2)		
	(3)		
	(4)		

次年度以降における 施策の具体的な 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業後に参加者からいただいたアンケートを精査し、取り入れられるものは新規事業に活用していく。
-----------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

成果 指標 の 推 移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	
	(1)	未実施	未実施	356人		
	(2)					
	(3)					
	(4)					

第6次行政改革大綱 に基づく取組の進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県指定史跡である伊奈氏屋敷跡を貴重な文化遺産と捉え、地域住民と関係機関を交え協議、調整を行い整備しつつ協働のまちづくりを目指していく。 ・総合文化祭や町展は、関係者と連携・協働を深め、事業を効果的に進めた。
------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

行政評価表(事業評価一覧) 合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	1,559	1,255	0	0	0	1,255

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育てはじける笑顔 輝くまち
節名	第6節 生涯にわたる学びの支援と文化芸術の振興
施策名	3-文化財及び町史資料の保護・保存・活用

施策の内容	目指す姿	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果はまちづくりや地域活動などに生かされています。町民の文化意識が向上する中、文化財への理解が深まっています。郷土愛が育まれ、自ら学び地域社会に貢献する人材が育っています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校開放講座については、人気がある講座は継続的に行っていますが、参加者数が減少傾向にあることから町民のニーズに対応した満足度の高い多様な講座の開催を検討します。 ● 本格的な高齢社会に向けて、生涯学習は高齢者の社会参加・生きがい対策として重要な取組となることから、引き続き指導者の育成や新規サークルの立ち上げに取組みます。 ● 文化・芸術に関するイベントについては、引き続き実施していくとともに、参加者や町民のニーズと観光との連携を含めた新規取組について検討します。 ● 高齢化の影響もあることから、指導者の確保の充実に努めます。 ● 町民の文化財に対する理解をより深めるとともに、町の魅力を多くの人に知ってもらえるよう、地域の文化財をしっかりと調査し、体験型イベント等の実施や広域圏での企画など、文化財を活用した取組を検討します。 ● 伊奈氏屋敷跡を保存・継承した上で観光とタイアップしたさらなる活用を図ります。 ● 将来の町史編さんのために、必要な行政文書は廃棄せず、歴史公文書として保存・活用に努めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	指定文化財の数	25件
	(2)	体験型イベントの参加者数	100人
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	22件	22件	22件	
	(2)	未実施	120人	105人	
	(3)				
	(4)				

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	12,041	11,783	1,515	0	107	10,161

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度、令和元年度に実施した発掘調査について、発掘調査報告書刊行のための出土遺物整理作業を行った。 ・令和3年10月に締結した、『伊奈町、川口市、つくばみらい市「伊奈氏ゆかりの地」歴史・文化的交流に関する協定』の締結記念として、パネルディスカッション(参加者127人)と「伊奈忠次展」(のべ来場者377人)を開催した。 ・伊奈氏屋敷跡において保存目的の発掘調査を行った。現地説明会には100人が参加した。 ・郷土資料館におけるまが玉作り体験や企画展の実施により、郷土資料館の役割などを広く周知し、文化財に対する興味・関心を得られた。 ・『伊奈町史通史編Ⅲ』を刊行した。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財包蔵地内における開発に伴う試掘調査件数は横ばいとなっている。 ・伊奈氏関連事業の展開により、伊奈氏及び伊奈氏屋敷跡の認知度が高まっている。 ・世代交代や住宅の建替えによる資料寄贈の依頼が増えている。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館の展示内容(展示品)の充実、パンフレットを希望する問合せが増加している。 ・伊奈氏や伊奈氏屋敷跡についての歴史や遺構の問合せが増えている。 ・伊奈氏屋敷跡の現状を活かして、遺構がわかりやすく、見やすくなるような見学環境を整えてほしいという要望が寄せられている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈氏関連事業への参加者も多く、伊奈氏や伊奈氏屋敷跡について認知度を高めることができた。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・町史編集事業の過程で収集した資料や寄贈資料、出土遺物などが増加しているが、資料の整理・調査が進んでいない。また、保管場所や展示場所が不足している。 ・公文書を歴史的資料として保存するための枠組みが整備されていない。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈氏屋敷跡の保存・整備・活用をより具体的に定める計画の策定を見据え、「伊奈氏屋敷跡保存活用計画」を基にした継続的な発掘調査等の各種調査を行う。 ・過去の発掘調査で出土した遺物の再整理(報告書の刊行含む)を実施する。 ・町立郷土資料館所蔵資料の整理作業場所、保管場所を確保する。 ・『文化財保存活用地域計画』の策定を見据え、未指定を含めた文化財の調査を行う。 ・伊奈町・川口市・つくばみらい市「伊奈氏ゆかりの地」歴史・文化的交流に関する協定に基づく調査を行う。 ・公文書を歴史的資料として保存するための枠組みを整備し、資料の散逸を防止する。
---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・伊奈町の地理・自然・歴史あるいは町内所在の文化財などについて、もっと知りたいという住民のニーズに応えるため、資料の収集・整理、保存・調査、公開・活用を進めているところではあるが、より効果的・効率的に進めていく必要がある。
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章_人を育てはじける笑顔_輝くまち
節名	第7節_スポーツ及びレクリエーション活動の推進
施策名	1-スポーツを通じた元気なまちづくり

施策の内容	目指す姿	生涯にわたりスポーツを楽しむ環境が整っており、まちづくりや地域活動などに活かされています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽スポーツなど誰でも参加できるスポーツイベント等を開催するとともに、「スポーツ都市宣言」(昭和57年)から40年目を迎えることから、記念イベントについて検討します。 ● 各種スポーツ教室を通して、町民の健康づくりのサポートに努めます。また、種目については、住民のニーズに対応するよう検討します。 ● スポーツ・レクリエーションの活動団体によっては、会員の減少、後継者不足が課題となっているため、魅力ある事業の企画立案、具現化に努め、会員の確保、後継者の育成に取り組めます。 ● スポーツ施設は、屋内・屋外とも引き続き計画的な改修や用地の確保、暑さ対策に取り組めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	町スポーツ施設の利用者数	320,000人
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	
	(1)	211,925人	295,841人	280,800人		
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	12,693	12,481	0	0	3,445	9,036

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・真夏の暑さや豪雨等の天候の変化、新型コロナウイルス感染症拡大等の社会情勢の変化に応じた施設運営ができた。 ・施設備品等、劣化している箇所が多くなってきているが、計画的に更新することにより、利用者に対し、安全で快適なスポーツ活動の場を提供することができた。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設や備品等が古くなっているため、計画的な更新が必要となっている。 ・誰もが安心して活動できるスポーツ施設の提供が必要となっている。 ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底が求められる。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の充実を求める声が増えてきている。 ・各年代の方々が楽しめるスポーツ教室等の開催や内容の検討が求められている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を行いながら適正な施設運営ができた。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において、利用者から施設の不具合について問い合わせがあるため、充実した事業を展開するには、施設ごとにおける住民ニーズにあった施設整備の更新や整備が必要である。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設の維持管理等を計画的に進める。 ・利用者のニーズに応じた安全な施設運営を行う。 ・近年、ジョギングロードの損壊が増えていることから、見回りを行い、損壊箇所の早期発見と迅速な修繕を行う。
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な施設点検や利用者からの情報提供により、限られた予算の中で優先順位を決め、適切な維持管理を行っている。
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第3章 人を育てはじける笑顔 輝くまち
節名	第7節 スポーツ及びレクリエーション活動の推進
施策名	2-スポーツ・レクリエーション事業の充実

施策の内容	目指す姿	生涯にわたりスポーツを楽しむ環境が整っており、まちづくりや地域活動などに活かされています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽スポーツなど誰でも参加できるスポーツイベント等を開催するとともに、「スポーツ都市宣言」(昭和57年)から40年目を迎えることから、記念イベントについて検討します。 ● 各種スポーツ教室を通して、町民の健康づくりのサポートに努めます。また、種目については、住民のニーズに対応するよう検討します。 ● スポーツ・レクリエーションの活動団体によっては、会員の減少、後継者不足が課題となっているため、魅力ある事業の企画立案、具現化に努め、会員の確保、後継者の育成に取り組めます。 ● スポーツ施設は、屋内・屋外とも引き続き計画的な改修や用地の確保、暑さ対策に取り組めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	町スポーツ施設の利用者数	320,000人
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	
	(1)	211,925人	295,841人	280,800人		
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	4,129	3,218	0	0	0	3,218

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・町が主催する各種スポーツ教室、各種イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、スポーツに関わる機会を提供することが少なかった。各スポーツ、レクリエーション団体の活動に対してサポートを行うことができた。 ・また、友好都市である茨城県つくばみらい市と町内のスポーツ少年団とのスポーツ交流を行うことができ、交流を広げることができた。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、住民のイベント参加へのためらいがある。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・各年代の方々が楽しめるスポーツ教室等の開催や、子どもから大人まで誰でも気軽に参加できるスポーツイベントが求められている。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、安心安全に実施できるイベントを模索していく必要がある。
	展開した事業は適切であったか	・町主催の各種事業は準備を進めたが、多くの事業は町民や参加者の意向により新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。各スポーツ、レクリエーション団体の活動のサポートを行うことができ、スポーツを楽しむ環境を維持することができた。
	施策を達成するうえでの障害について	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、住民の事業への参加意欲が低下している。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・町主催のスポーツイベントについては、関係団体と連携して事業内容の検討を図る。 ・スポーツフェスティバルについては、「体育」から「スポーツ」への名称変更の趣旨に基づくとともに、選手不足による参加数が少ない地区対抗種目の見直し、また、一般種目の代替として新たなスポーツイベントの導入により町民の幅広い年代が気軽に参加できるものとする。 ・つくばみらい市で開催される、少年野球大会やグランドゴルフ大会への参加について関係団体と調整を行うとともに、大会への参加を通して友好都市と交流を深めながらスポーツを楽しむ機会を提供していく。
---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大のため、機会は少ないながらも、スポーツを楽しむ環境を提供することができた。各スポーツ、レクリエーション団体の活動に対してサポートを行うことができた。また、スポーツフェスティバルについて、幅広い年代が楽しむことができるよう関係機関と協議し考案している。
----------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和4年度 行政評価表

担当課	生涯学習課
章名	第5章_共につくる_未来につながるまち
節名	第5節_人権尊重と平和意識の啓発推進
施策名	1-人権・同和教育啓発の推進

施策の内容	目指す姿	誰もが互いの人権を尊重し、自分らしく生きる社会が形成されています。また、平和意識が世代を超えて継承されています。
	今後に向けた課題・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権意識の高揚を図り、人権啓発、人権教育の推進が必要であり、平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されるなど、人権に関する様々な法整備も進められており、一層の取組に努めます。 ● 人権講座は平成29年度まで平日昼間に開催していましたが、参加可能な層に限られてしまうことから、平成30年度より夜間・休日も開催しました。今後も開催日時や講師選定、周知方法などについても工夫し、多くの町民が参加できるように努めます。 ● 人権相談については、高齢者・外国人・LGBTなどの性的マイノリティなどに関する相談が増加してくることが考えられることから、相談体制を充実させ、新たなニーズに対応します。 ● 平和学習の内容は、次世代を担う子どもや町民に戦争の悲惨さを認識してもらえるものとし、平和に対する意識の啓発に努めます。

まちづくり目標値	指標名		目標(令和6年度)
	(1)	人権講座への参加人数	100人
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績
	(1)	実績なし	74人	68人		
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	956	735	0	0	0	735

今年度の施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。(進捗率71~100%)
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。(進捗率31~70%)
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。(進捗率0~30%)
施策達成度の理由(施策に対する今年度の実績及び効果)		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が異年齢間の交流を行うことで他人を尊重する意識を醸成させることを目的としたフレンドシップセミナーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。人権講座については、人数を制限するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底した内容で事業を計画し、3回開催した。 ・例年全戸配布している人権啓発広報紙「みどり」については、人権講座の実施報告や児童生徒の人権標語の作品及び人権教育DVDの紹介を掲載し、コロナ禍において人権課題をより身近なものとして捉える機会を提供できるよう努めた。 	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の人権に対する意識は高まりつつあるが、人権に関する問題は多様化している。 ・住民の生活様式の多様化が進んでいる。
	住民ニーズの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・人権問題が多様化していることから、新たな知識を得たいというニーズが高まっている。
	展開した事業は適切であったか	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の実施について、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、対策を講じて実施し、人権問題について知ってもらうことができた。
	施策を達成するうえでの障害について	<ul style="list-style-type: none"> ・生活様式の多様化による幅広い人権問題に対応した講座の企画内容を研究していかなければならない。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会情勢の変化に応じた事業を展開していく必要がある。

次年度以降における施策の具体的な方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講座では、これまでの参加者アンケートを参考にしながら、社会情勢の中で問題となるタイムリーな人権問題について幅広く取り扱う。 ・人権講座等の人権啓発事業は、より多くの参加者を得られるよう、引き続き広範囲なや町ホームページに掲載するほか、案内チラシやポスターの作成を行う。若年層の参加を増やすため、伊奈町公式ラインやフェイスブック、いなナビなどを積極的に活用する。
---------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講座では、これまでの参加者アンケートを参考に関心の高いテーマを取り入れている。 ・人権標語ポスターや啓発品等の作成数、人権啓発広報紙の掲載記事を凝縮し、コストの見直しを図っている。 ・人権啓発事業においては様々なツールを用いて情報発信に努めている。 ・人権講座は、多くの方に参加してもらえるよう、より町民ニーズに合った講座になるよう検討する。
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------